

対象国の条件:

研修コース番号:(A)201984630-J002/(B)201984631-J002

案件番号:(A)201984630/(B)201984631

主分野課題:民間セクター開発/中小企業育成・裾野産業育成

副分野課題:

使用言語:(A)英語/(B)英語

案件概要

本研修は、公的な中小企業支援機関等で企業の経営指導に関わる人を対象に、「ものづくり」「カイゼン」を基盤とした日本企業の品質・生産性向上の理論および手法と、日本企業の人づくりに関するノウハウを学び、日本の事例を参考に所属組織における中小企業支援のための課題解決案を作成することを目的とする。

目標/成果	対象組織/人材
<p>【案件目標】 公的支援機関等で実際に中小企業の品質・生産性向上を指導する役割を持った参加者が、日本の生産性向上手法(カイゼンなど)の実践方法を習得し、所属組織における中小企業支援のための課題解決案を作成する。</p> <p>【成果】 1. 中小企業支援を促進する上での、自国および所属組織の課題を分析する。 2. 日本の中小企業支援サービスについて理解する。 3-1. ものづくり哲学、品質・生産性向上(カイゼン)を基盤とした品質・生産性向上の理論と手法を習得する。 3-2. 品質・生産性向上に必要な人材育成(ひとづくり)の手法を習得する。 4. 習得した知識を活用し、自国の中小企業の品質・生産性向上のための実用可能な方法を検討する。</p>	<p>【対象組織】 中小企業支援機関(自国産業の品質・生産性向上を促進する公的機関中小企業支援機関における)</p> <p>【対象人材】 <職位> 中小企業の品質・生産性向上を促進する立場にいる人材 <経験> 対象業務の実務経験が3年以上の者 とりわけ中小企業への指導について十分な実務経験を持つもの <その他> 関連分野におけるJICAプロジェクト等において、位置付け・役割が明確な関係者の参加を奨励</p>

内 容				
<p>【事前活動】 インセプションレポートの作成</p> <p>【本邦研修】</p> <p>講義: 公的機関の中小企業支援サービス(技術支援など)、ものづくり哲学、品質管理、生産性向上、カイゼン、5S(3S)、QCサークル(小集団活動)、PDCAサイクル、目で見える管理、企業内人材育成、企業内のカイゼン活動の取り組みなど</p> <p>実習: 生産性向上手法など</p> <p>訪問: 公的技術支援センター、中小企業大学校、品質・生産性向上(カイゼン)を実践する企業(自動車、金属加工、食品、繊維など)など</p> <p>討論、発表: インセプションレポート、 中間、アクションプラン</p>	<p>本邦研修期間</p>	<p>(A)2019/9/25~2019/10/24 (B)2020/2/19~2020/3/19</p>	<p>担当課題部</p>	<p>産業開発・公共政策部</p>
	<p>所管国内機関</p>	<p>(A) JICA中部 (B) JICA中部</p>	<p>関係省庁</p>	
	<p>実施年度</p>	<p>2019~2021</p>		

<p>主要協力機関</p>	<p>(A)調整中/(B)調整中</p>
----------------------	----------------------

<p>特記事項 及び ホームページ</p>	
--------------------------------------	--